

主催：応用物理学会微小光学研究会

微小光学研究会



第 163 回微小光学研究会

「実用化が拡大するシリコンフォトニクス」

近年世界的な研究開発競争が繰り広げられているシリコンフォトニクスは、日本においても産業化を見据えた多くの研究プロジェクトが推進され、幅広い応用展開が期待されている。本研究会ではセンシングと通信という二つの主要なアプリケーション分野におけるシリコンフォトニクスを用いた取組を紹介する。

日時： 2022 年 5 月 25 日（水） 13:30-17:45

会場： 早稲田大学 西早稲田キャンパス

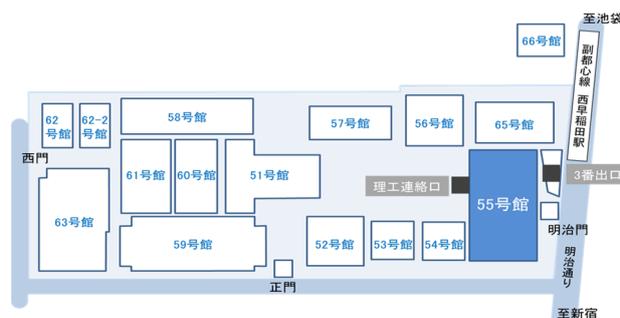
55 号館 N 棟 1 階大会議室

〒169-8555 新宿区大久保 3-4-1

交通： JR 山手線 高田馬場駅から徒歩 15 分

西武新宿線 高田馬場駅から徒歩 15 分

副都心線 西早稲田駅に直結



<http://www.waseda.jp/top/access/nishiwaseda-campus>

プログラム

13:30-13:40	開会の挨拶	
13:40-14:20	【特別講演】シリコンフォトニクスの進展と通信・センサ応用	馬場俊彦（横国大）
14:20-14:50	高分解能イメージングに向けた光集積フェーズドアレイ	種村拓夫（東大）
14:50-15:20	シリコンフォトニック結晶デバイスを用いた空間電荷検知技術の研究	高橋和（大阪公立大）
15:20-15:40	<休憩>	
15:40-16:10	シリコンフォトニクスによる光トランシーバの集積化・高密度化の進展と課題	中村隆宏（アイオーコア）
16:10-16:40	導波路型光アイソレータの開発と集積化に向けた検討	庄司雄哉（東工大）
16:40-17:10	Si/ポリマーハイブリッド型の光変調器を用いた高速信号伝送	横山士吉（九大）
17:10-17:40	シリコンフォトニクスを用いた大容量伝送技術	田中有（富士通）
17:40-17:45	閉会の挨拶	

参加費（消費税込、予稿集代を含む）： 一般 5,000 円、応用物理学会員 4,000 円

学生・シニア 2,000 円、学生・シニアの応用物理学会員 1,000 円

申込方法：事前に、微小光学研究会ウェブサイト (<http://www.comemoc.com/>) よりお申込み下さい

※開催数日前に予稿集と請求書を郵送致しますので、参加費を指定口座にお振込ください

担当委員：荒川（横国大）、北（早大）、斎藤（日立）、水本（学振）、山口（工学院大）

問合せ先：北（早大）(tkita@waseda.jp)（**■**を**@**に変えてください）

微小光学研究会 代表：伊賀 健一 運営委員長：中島 啓幾 実行委員長：横森 清

運営副委員長：波多腰 玄一 実行副委員長：宮本 智之

※プログラムは微小光学研究会のウェブサイト <http://www.comemoc.com/> でもご覧いただけます。